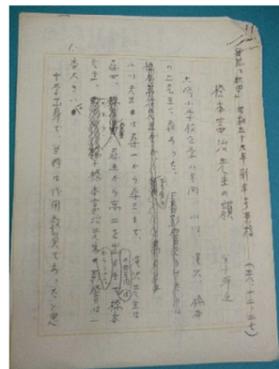


種時く人資料室へようこそ！ 第1回 橋本先生

雑誌『種時く人』を創刊した小牧近江、金子洋文、今野賢三。彼らは明治33年に土崎小学校に入学し、共に学びました。小学生時代を語る際に必ず登場するのが4年間教わった橋本富治先生。その名前がタイトルに入っている原稿を紹介します。

修身（現在の道徳）の授業では生徒達の歓声が上がるほどの「話コ」を披露し、それを聞くうち「知らず知らずの間に、ヒュウマニズムが培かわれたようだ（原文ママ）」と記しています。『種時く人』の原点がここにあったのでしょうか。

原稿のタイトルにある「顔」とは、野球の強豪校に強引に對抗試合を申し込んだものの、ルール違反の盗塁を量産して勝てる試合に負けた時に先生が見せた「くさった顔」のこと。原稿からは先生への感謝と敬意、親しみが感じられます。



↑金子洋文執筆「橋本富治先生の顔」（雑誌『秋田』昭和39年新年号原稿）

※資料室に原稿と掲載雑誌を並べて展示中

おすすめ！電子書籍

スマートフォンやタブレット端末で、空いた時間に気軽に読書ができることが魅力の電子書籍。今回ご紹介するのは『マンガでわかる東大読書』。読書会に誘われた主人公ですが、実は読書が大嫌い。そんな彼をサポートするのは石版から登場した神霊で…？「人生を変える一冊」と出会うための読書術を身につけてみませんか。

電子書籍サービスは、図書利用カードにパスワードを設定することですぐに利用できます。パスワードをお忘れの方は、図書利用カードと身分証明書をお持ちの上カウンターにお越しください。

マンガでわかる東大読書

西岡 吉誠／原案
小野 洋一郎／著
東洋経済新報社
019.12

図書館員のつぶやき

早いもので一年の半分が過ぎました。近頃はお囃子が聞こえることもあり、土崎港曳山まつりの時期が来たことを実感します。季節は夏本番。これから山や海へのレジャーやキャンプに行く機会も増えると思います。しかし、相変わらず毎日のように熊出没のニュースを耳にします。外出の際はしっかりと準備をして、事故のないよう気をつけて楽しみましょう。

(阿部)



7・8月の行事予定

7/23 夏休み調べもの講座
7/27、28 小学生の選書体験
8/6 夏休み子ども講座
8/31 市民文化講座
おはなしの会 (第1.3.4土曜)
おりがみの会 (第2土曜)
対面朗読・テレフォンサービス(火・木曜)

7・8月の休館日

7月 1(月)、8(月)、16(火)、
22(月)、29(月)、31(水)
8月 5(月)、13(火)、19(月)、
26(月)、30(金)



土崎図書館 だより

令和6年度 第2号 2024年7月発行

リニューアルしました！土崎図書館だより

今号から、紙面が新しくなりました！これまで以上に土崎図書館の魅力が伝わる紙面づくりを目指してまいりますので、皆様のご感想をお聞かせください。

新コーナー その1「種時く人資料室へようこそ！」

2階の「種時く人」資料室に展示されている資料を中心にをご紹介します。ときには書庫で保管している貴重な資料もお目見えするかもしれません。このコーナーをきっかけに資料室に訪れてみてはいかがでしょうか。

新コーナー その2「おすすめ！電子書籍」

令和6年1月末から始まった電子書籍サービス。おすすめの1冊を紹介しながら、サービスの利用方法や、電子書籍ならではの特徴などを紹介していきます。

ライオンズ文庫・大森文庫のご紹介

ライオンズ文庫

平成25年にライオンズクラブの県組織、国際協会332-F 地区からの寄贈があり、以降、秋田港ライオンズクラブからの寄贈が続き、今年で12年目を迎えました。今年は、働く方に向けたビジネス書や、子どもが選挙やバリアフリーについて学ぶことができる図書がそろいました。

大森文庫

土崎図書館の支援団体「土崎図書館友の会」副会長を務めた故・大森和美氏のご遺志により寄贈されています。国語教師であった大森氏の専門である文学、国語、教育に関する分野の図書が中心です。

どちらも子どもから大人まで多くの方が楽しめるラインナップですのでぜひご利用ください。



新しく買った本（一般書）の紹介

担当：保坂

子どもも親もラクになる偏食の教科書

簡単にできる方法を、一番わかりやすく

山口 健太／著 藤井 葉子／監修
青春出版社 599.3 ヲ

「食べられないものが多い」「何を作っても食べてくれない」など、約3割の親が子どもの偏食について悩んでいるといいます。本書では偏食とは何か、改善すべきものか、といった子どもの食事の悩みについて丁寧に解説します。



見て楽しむことば図鑑

みっけ／著（デザイン・言葉選び） 天野 慶／著（言葉選び）
幻冬舎 814 ミ

「〇〇のことば」という100のテーマで言葉を集めた図鑑です。「ごはん」は台所道具、「名画」はパレット、「笑顔」は顔文字をモチーフにするなど、テーマに合わせた100のデザインがわかりやすく、創作のヒントをまとめたコラムもあり、「書きたい」「描きたい」人に役立つ1冊です。



小田くん家（ち）は南部せんべい店

高森 美由紀／著
徳間書店 F 効刊 ミ

小学4年生の弘毅の家は、郷土菓子の南部せんべいを焼いている「小田せんべい店」。地域を学ぶ課外授業が店で行われ、最近不登校の同級生・潤がひょっこり顔を出しました。さらに潤が1人で店に来て、せんべいを焼き始めたことで、店があまり好きではない弘毅の気持ちも変化して…。



おすすめ BOOKリスト

今回のテーマ
夜をたのしむ

担当：近藤(明)

- ① よるになると
松岡 達英／さく 福音館書店 E マ（低学年から）
- ② せつない星座図鑑
森山 晋平／文 伊藤ハムスター／絵 三オブックス 443 セ
- ③ 花火が写る絶景撮影術
井上 嘉代子／監修 双葉社 743.5 ハ

新しく買った本（児童書）の紹介

担当：近藤(紘)

ちいさな木

角野 栄子／作 佐竹 美保／絵
偕成社 E サ（低学年から）

「ぼく、家出したんだよ。これから好きなところに行くんだ。一緒にくる？」犬のゴッチに誘われたのは町外れに立つ木のキッコ。自分は歩けないからと誘いを断るキッコですが、ゴッチに励まされ根を動かすと…なんと、歩くことができたのです。さあ、2人はどこへ向かうのでしょうか。



パイナップル

（知りたい食べたい熱帯の作物）

竹内 誠人／監修 谷口 シロウ／絵と造形
農山漁村文化協会 62（中学年から）

酢豚やジュースなどでおなじみのパイナップルですが、昔は王様の果物と言われた高級品でした。いったいどのような歴史を辿り、私たちの食卓に並ぶようになったのでしょうか。パイナップルの歴史や特徴などを絵と写真で詳しく解説し、身近な果物のことを楽しく学べる1冊です。



げたばこかいぎ

村上 しいこ／作 高畠 那生／絵
PHP研究所 91 ム（低学年から）

げたばこかいぎが始まりますよ！はるとが呼ばれたのは、げたばこの靴たちが集まる会議。その内容は、パパの革靴が臭すぎるといふ他の靴たちからの苦情でした。靴たちから、足が臭いことをパパに言うように迫られたはるとですが、伝えるべきか悩みます。困ったはるとの決断は…？



夏の夜、出かけるなら何をしますか？例えば、夜の生き物たちを観察してみるのはいかがでしょう。昼とは違う姿を見せるもの、夜になると姿を現すもの、きっと新たな発見があるはず。①は公園、川原、森の中の昼と夜のそれぞれの様子を比較しながら見ることができる絵本です。そんな生き物たちの気配を楽しみつつ、夜空をゆっくりと眺めるのも素敵ですね。星座にまつわる神話のせつないエピソードを紹介した②を読めば、より深く楽しめるのではないのでしょうか？そして、夏の夜の風物詩といえばやはり花火！本格的な花火写真の撮影に挑戦しようと思ったら③を。みなさん、夏の夜を思いきり楽しみましょう！